

中核市移行検討状況のお知らせ

◆ 静岡県・川勝知事に中核市移行検討に係る協力の依頼に伺いました！



5月15日 中核市移行検討に係るさらなる情報提供の協力をお願いするために、小長井市長が、静岡県・川勝知事を訪問しました。

川勝知事からは「富士市が中核市となって力をつけてくれることは望ましいと考えている。県としても協力をしていく。」との言葉をいただきました。

◆ 各種団体へ中核市移行検討の状況について、説明にお伺いしています

4月下旬から5月中旬にかけて市内全ての「民生委員・児童委員協議会」の定例会にて、説明をさせていただきました。

民生委員については、中核市の権限の一つとして、「民生委員の定数の決定」があり、中核市になった場合は富士市の実情に合わせた定数の決定ができるようになります。

また、委員については中核市からの推薦に基づき、厚生労働大臣が委嘱することとなりますが、その過程において、静岡県を経由する必要がなくなります。これにより委嘱状の交付が早くなるため、新任の民生委員においては、民生委員として早く活動ができることになり、市民の皆さまの安心な生活に寄与いたします。

また、産業界においては、5月15日時点で中小企業家同友会（政策委員会）、岳南法人会（理事会）、ライオンズクラブ（ガバナー諮問委員会）に説明にお伺いさせていただきました。



◆ 中核市移行検討庁内プロジェクトメンバーが中核市事務の調査研究をしています

富士市議会 全員協議会（平成30年3月23日）では、以下のことをご指摘いただきました。

- ▶ 移譲される事務について、効果を具体的に示すこと。
- ▶ 移譲される事務について、財源の詳細を示すこと。
- ▶ 「現状Aが権限移譲によってA'となり、市民サービスがどう変わる。」という市民が理解しやすい資料を提示すること。

現在、作業を進めるにあたって、プロジェクトメンバーが移譲される事務の内容と法令等を確認し、必要な調査・研究を進めています。